

平成28年度第4四半期指摘事項一覧(事業者の処置結果追記分)

原子力事業所又は原子力施設名: 関西電力(株) 高浜発電所

作成責任者 統括原子力保安検査官 山西 忠敏

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
2	H29.3.10	山西	所長	<p>【平成28年度第4回保安検査】 高浜2号機大型クレーンジブの倒壊事故を受けて実施された「クレーン倒壊の安全文化の視点からの評価」では、「組織内、組織間の連携は良好か」、「協力会社・外部関係組織との意思疎通・連携が十分図られているか」及び「現状への問いかけ・リスク評価や組織全体のリスク感知能力を通じて、更なる安全性、信頼性の向上および労働災害の未然防止に努めているか」等4つの視点において改善の余地があると評価されている。また、2号機大型クレーンジブ倒壊の原因とその発生要因を確認した結果、特に「常駐でない請負会社に対する原子力知識・安全上重要な設備に関する教育・リスク管理教育など」が不足していたと考えられる。 上記の安全文化評価からの対策として、「社員及び協力会社(常駐でない協力会社含む)社員による日常からの自然環境等のリスクに対する議論・啓発活動を推進する活動」を、次年度の安全文化醸成活動の中で、重点施策として取り組んで頂きたい。 また、一方的に伝えるだけでなく、相手の理解度や日頃の行動について把握することも併せて検討して頂きたい。</p>	H29.3.23	指摘の内容を踏まえ、平成29年度安全文化醸成活動の重点施策の計画を5月中旬に策定し、取り組む予定。
					H29.6.23	指摘の内容を踏まえた平成29年度安全文化醸成活動の重点施策の計画を、5月23日に策定しており、平成29年度第1回保安検査における検査項目「安全文化醸成活動の実施状況」の中で、発電所及び各課(室)・グループの活動計画に展開されていることを確認した。現在、活動計画に基づき取り組み中。

(※)番号1は、前四半期までに処置完了済み。番号2については、事業者の処置完了を確認済み。